

かいません(確定)

「そろばんの球の角をとったような扁平のちっちゃなうんこがいっぱいまとまって落ちてる」
：ノウサギまで来てますね。

潜み場いろいろ

人間とちがって雨が降ろうが雪が積もろうが平気で毎日餌探してるけど、やっぱり寝る、休む、出産する、子育てする場所は雨風雪は避けたい。

で、あなたの家の庭や畑に来るヤツの正体がわかったら、そいつの好みそうな潜み場を探してなくす。

アナグマ

裏山でも河川の土手でもとにかく斜面にトンネルを掘る。

何年も刈払いやってないササ藪とかに自分で横穴を掘って棲み家を作る。

穴を掘った土をかきだすからちっちゃなテラスができていい。

そういうとこ注意してみたらササの根本にせいぜい20センチ以下の小っちゃな出入り口見つかる。

タヌキ

アナグマのようなトンネルは掘れないから、とにかく何かを利用する。

家の敷地の菜園に来てるヤツなら、納屋の奥とか床下とか、積みっぱなしの土管や伏せたし字ブロック、倒壊した廃屋のほんのわずかなすき間。

こうした人造物のないところなら、2種類以上の野草や灌木の茂みに棲み家はできやすい。

たとえば何年も放置された休耕地のノバラとクズの茂みとかササとススキ、中には倒木とススキの古株みたいな組み合わせも。
やつら、天井の高さは20〜30センチでいいんだから。

テン、ハクビシン、アライグマ

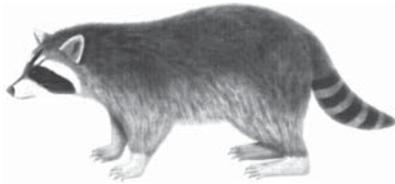
登るのが得意な連中は棲み家も優雅。

高いところって人間が来ないでしょ。

一人暮らしのおばあちゃんを使う部屋ってどうしても限られる。何かものをとりまく時とかお盆に親戚が集まるって時しか使わない部屋の

天井裏なんか最高の棲み家。それに最近、農村は空き家も選り放題。

納屋とか畑の横の野小屋とか時々餌にあわせて別荘も何戸か、餌は人間に作らせて、こんな贅沢いいのかしらって。



【アライグマ】
(食肉目アライグマ科)



【タヌキ】
(食肉目イヌ科)



【ハクビシン】
(食肉目ジャコウネコ科)



【イタチ】
(ネコ目イタチ科)



【ニホンアナグマ】
(食肉目イタチ科)



【テン】
(ネコ目イタチ科)

次回はこんな連中を撤退させる対策の話だよー!



講師紹介 井上 雅央氏

1949年、奈良県出身。
愛媛大学大学院農学研究科修士課程修了、京都大学博士(農学)。
元農研機構 近畿中国四国農業研究センター 鳥獣害研究チーム長。
退職後、同センター専門員(宮崎県、熊本県、広島県、静岡県などでアドバイザーとして継続的に活動)。
著書に、『これならできる獣害対策』『山の畑をサルから守る』『山と田畑をシカから守る』『60歳からの防除作業便利帳』『ハダニ』『女性がすればずんずん進む獣害対策』(いずれも農文協)など多数。

